

# 福島ロータリークラブ会報

【事務所】福島市栄町 5-1 ホテル辰巳屋 7F 【例会日】木曜日 12:30  
 【TEL】024-524-1010 【FAX】024-524-1011 【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

RI 2015-16 のテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16 RI 会長  
K.R. ラビンドラン

本日の  
プログラム

**新会員スピーチ**

NHK 福島放送局 局長

本保 晃 会員

第 19 回例会は、地区大会に振替となっております。

## 会長あいさつ

### 第 21 回会長挨拶

幡 研一 会長



只今は、総会にて次年度役員・理事・監事の選出を頂き有難うございました。古侯会長エレクト以下、次年度の役員・理事の皆様は次年度開始が待ち遠しいことと思います。

今年度は半分弱が経過しましたが、皆様のご協力のお蔭で、今までの所は何とか順調に経過しております。当初の一番の目標であった台北文湖 RC との友好クラブ締結も無事終了しました。福島 RC、福島学院大学 RAC、福島東稜高等学校 IAC、米山奨学生等と一緒に進む、「青少年国際理解フォーラム」は今度の日曜日、12月6日にここ辰巳屋ホテルにて開催いたします。また、「福島市内小学生の読書活動支援事業」の方も森川英治委員長を中心にして準備が進んでおります。

今後も身を引き締めてことに当たりたいと思っております。

本日のプログラムは、NHK 福島放送局局長の本保晃会員の新会員スピーチです。

## 私のひとこと

牧野 吉晃 会員



### フルマラソンにチャレンジ

福島に来てから 50 の手習いでマラソンにチャレンジし、「猪苗代湖ハーフマラソン」に 3 年連続で出場しています。3 年前は初めてのレースだったので 21km 走れるか試しに二本松から郡山まで走ってみました。ベストタイムは 1 時間 56 分台ですが、レースに出ると私より年配の方や女性にガンガン抜かれるのもっと頑張らねばといつも感じます。「東京マラソン」にも毎年申し込んでいるのですが、9 年連続で抽選にはずれたため勢いで「いわきサンシャインマラソン」のフルマラソンにエントリーしてしまいました。無事完走できたらみなさまにご報告したいと思います。

## 例会次第

開会点鐘 幡 研一 会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 岩山知弘 会員

四つのテスト唱和 清水義之 会員

お隣の方と〈好意と友情〉の握手

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

12 月誕生祝い

新会員推薦バッジ伝達

◎年次総会

会長挨拶 幡 研一 会長

食事

幹事報告 箱岩 偉 幹事

各委員会報告

●プログラム・ニコニコ BOX 小委員会

ニコニコ BOX 担当 佐藤武彦 委員長

●広報マルチメディア雑誌小委員会

「友」12 月号紹介 五阿弥宏安 委員

◎本日のプログラム

開会点鐘 幡 研一 会長



## 表彰・伝達

●新会員推薦バッジ伝達

丹治 正博 会員

(林 隆壽会員を推薦)

古侯 猛 会員

(茂木正志会員を推薦)



## 幹事報告

お知らせ

●本日 18:00 より石林にて 12 月理事会を開催致します。役員理事の皆様宜しくお願いします。

## 例会プログラムのご案内

12 月 17 日 (木)

12:30 ~ 辰巳屋

新会員スピーチ 加藤裕司会員、久保田吉朗会員

12 月 24 日 (木)

18:30 ~ 辰巳屋

「年忘れ家族会」

1 月 4 日 (月)

12:30 ~ 辰巳屋

「市内ロータリークラブ新年合同例会」

## 本日のプログラム

## 新会員スピーチ

NHK 福島放送局 局長

本保 晃 会員



皆さん、こんにちは。NHK 福島放送局長の本保です。あらためて、福島ロータリークラブに入会させて頂いたことに心から感謝いたします。きょうは、何を話すのが良いか迷ったのですが、これまでNHKでどんな仕事をしてきたのか、少しお話ししたいと思います。ただ、あまり総花的になっても良くないので、仕事上の原点になった20代の経験を中心にお話し、30代以降のことは駆け足で思っています。

## ◎初任地は仙台

私は、昭和58年の入局です。NHKには記者として入りました。初任地は仙台で、5年勤務しました。最初の3年は警察・検察・裁判（サツ回り）、残りの2年は東北大学の担当でした。サツ回りにはドブプリ浸かりました。当時取材した有名な出来事をひとつだけ挙げると、(免田事件・財田川事件につづく)松山事件の再審裁判。斎藤幸夫さんの無罪判決があります。

東北大学は、先日亡くなられた産婦人科医の鈴木雅洲さんが初の体外受精を成功させて間もない頃でした。大学病院では、脳死状態からの臓器移植の準備が行われ、半導体研究所では、西澤潤一教授がノーベル賞候補になっていました。それらの取材に加え、私にとって重要だったのは「東北大学担当」イコール「地震・津波担当」ということでした。「三陸津波」や「宮城沖地震」に備える。万一の時は「解説」もするというので、東北大学の地震研究所にはよく通いました。岩手県田老町(当時)へ行き、明治三陸津波で高台に押し上げられた津波石を、東京から来た解説委員らと一緒に見て回ったこともあります。当時の津波の第一人者は、首藤伸夫教授で、首藤先生の初期の津波のコンピューターシミュレーションは、よく取り上げさせて貰いました。そういう経験をして、昭和63年に東京・社会部へ異動しました。

## ◎警視庁・方面担当

社会部の若手1年生は、えてしてそうなのですが、警視庁記者クラブの方面担当になります。警視庁は、東京を1方面から8方面に分けているのですが、私は6方面と7方面を兼務しました。6方面の本拠地は上野警察署、7方面の本拠地は本所警察署で、下町全域が担当エリアです。その地域の「事件」「事故」「話題」何でも扱います。

最初は平穏でした。思い出すのは、パンダの赤ちゃんです。上野動物園では、当時、パンダの赤ちゃんの

「ユウユウ」が6月に生まれたばかりでした。生後1か月2か月3か月と成育状況を記事にするのですが、ニュースの扱いが良く、毎回「準トップ級」の扱いになりました。ユウユウは本当に小さな赤ちゃんでしたが、私にとっては神様のように大きな存在でした。

6・7方面でもう一つ良かったのは、両国の国技館に比較的自由に出入りできたことです。9月になって秋場所が始まり、私は相撲を見に行きました。その日は天覧相撲の日で、廊下の隅から見ていようと思っていました。ところが、場内アナウンスで「陛下が来られなくなった」とのこと。驚いて職場に連絡したら、職場では既に分かっていた「陛下は体調を崩された」とのことでした。

そこを境に、平穏だった方面生活は、一変しました。まず、命じられたのは、皇居の門番です。たとえば、半蔵門や乾門で張り番をする。陛下に異変があると、皇族方の車が次々に入ってくるので、異変を察知できるというわけです。暫くすると、今度は皇居内にある「宮内庁」で張り番をすることになりました。…(略)…当時のメモを持ってきたので、少し読んでみます。「11月1日晴れ…(略)…」そうこうしているうちに、年が明け、平成を迎えました。

時代は平成になりましたが私の生活は激動!で、このあと凶悪事件が続きました。皆さん、覚えていらっしゃるかどうか。「女子高生コンクリート詰め殺人」「連続少女誘拐殺人事件」。いずれも、わが方面が関係していて、番組づくりに加わりました。さらに、この年は東京都議会議員選挙で「票読みと当確打ち」の仕事もあり、超多忙の日々が続きました。

## ◎羽田空港(東京国際空港)

さて、東京で1年が経ちました。方面担当は1年限りと決まっていて、2年目からは、様々に振り分けられます。たとえば、警視庁本庁担当、都庁担当、厚生省担当という具合です。この配置は、記者にとっては転勤位の意味があります。私はと言うと、羽田空港担当つまり「航空担当」になりました。職場内では「飛行少年グループ」とも呼ばれています。日常的には、運航ダイヤの乱れ、空の安全の取り組みなどを取材しますが、特に大事なのは、全国ときには世界で起きる航空機事故やトラブル、それにハイジャックなどの対応です。

当時、航空界は、日航ジャンボ機墜落事故から3、4年の頃で、航空関係者の間では、正しい報道、正しい理解をして欲しいという思いが強かった。一方のマスコミは、その時は勉強しなくてはと思うのですが、事態が落ち着いてくると次第にいなくなります。私はメディアが少なくなった頃に羽田に行ったので、官からも民からも大歓迎されました。結果、集中的にレクチャーを受けることになりました。管制官、パイロット、ディスパッチャー、整備士などからレクチャーを受けました。

思い出深いのはコックピットオブザーブ。実際に飛行する旅客機の操縦室で、パイロットの後ろに座って、飛行機や管制の仕組みを学ぶものです。…(略)…又、パイロットの訓練用シミュレーターも経験しました。こんなことは、今は厳しくなって出来ません。特に、アメリカの同時多発テロ以降は難しいです。私は、幸運だったと思います。

ところで、お話している羽田空港は、今のターミナルではなく旧ターミナルですが、当時、世界各国から国賓を乗せた特別機が次々にやってきました。平成元年に昭和天皇の「大喪の礼」、平成2年に今上天皇の「即位の礼」があったからです。まぶたに焼き付いているのは、即位の礼で来日した「ダイアナ妃」。チャールズ皇太子と一緒にタラップを降りてきました。忘れられないシーンです。当時、ダイアナ妃は28歳。そして、誰も関心はないと思いますが、私は29歳でした(笑)【訂正: 正しくは、ダイアナ妃29歳、私30歳でした】。ということで、わたしの専門は「航空」でスタートしました。

### ◎30代以降これまで

30代以降は、航空・宇宙・原発・IT・(一部)医療と、取材して行きました。管理職になってからは、国交省デスク、防衛省デスク、経産省・文科省デスク(=原発デスク)、総務省デスク(=ITデスク)などを担当しました。そういう記者人生で、強烈な経験を3つ挙げるとしたら、①阪神大震災、②9.11アメリカ同時多発テロ、③そして「3.11」です。

3.11東日本大震災で、震源が三陸沖と分かった時、私は、岩手県田老町の津波石を思い浮かべていました。だから職場で「津波に備えろ!」と叫んでいました。三陸津波のことは、かなり知っているつもりでしたが、仙台空港とか、まして福島が被害を受けることは全く想像できませんでした。後から分かったのですが、私が羽田で飛行機に乗っていたころ、東北大学の首藤教授は、東京電力に対して福島の津波の危険性を伝えていたと知りました。エーッと思いました。きちんとお付き合いを続けていれば、警告を発することができたかも知れないと悔やまれました。

ちなみに3.11の時、私は科学文化部の統括で、その後、科学文化部長として、おとしまで2年間、原発対応をしてきました。最も心に残っているのは、視聴者から「政府が間違えてもNHKは間違えるな」と言われたことです。本当にその通りだと思いました。この言葉は、重く受け止めています。

おとしから2年間は、静岡で東海地震・南海トラフ・富士山対応などをしていて、今回福島へ参りました。福島の勤務は初めてですが、気持ちの上では、ふたたび戻ってきたように感じています。私にとっても震災対応はまだまだ続いていますので、精進することをお誓いして今日のスピーチを終わりにしたいと思いません。ありがとうございました。

### 年次総会

## 福島ロータリークラブ 2016-17年度 役員・理事・監事

クラブ細則第5条第1節に則り、年次総会を開催。例会定足数を満たし次年度の役員理事候補者の選挙を行いました(候補者記名用紙をテーブルに配布)。



候補者名を会長が呼び上げ、選挙は拍手にて求めていただき、選挙後次年度会長 古俣 猛 会員より挨拶を頂きました。

会長	古俣 猛 会員
会長エレクト	森岡 幸江 会員
副会長	浦部 博 会員
幹事	菅野 裕一 会員
会計	紺野 晴郎 会員
SAA	佐藤 英典 会員
直前会長	幡 研一 会員

### 理事 (五十音順)

今井理基夫 会員	右近 八郎 会員
氏川 守義 会員	金子與志人 会員
菅野 晋 会員	菅野 晴隆 会員
後藤 忠久 会員	坪井 大雄 会員
箱岩 偉 会員	日比野恒夫 会員

### 監事

八子 英器 会員	安藤健次郎 会員
----------	----------

## 12月誕生祝い

有田 吉弘 会員	昭和 39年 12月 11日
菅野 裕一 会員	昭和 37年 12月 13日
安藤 鍊雄 会員	大正 14年 12月 16日
相良 元章 会員	昭和 41年 12月 20日
鶴丸 直久 会員	昭和 38年 12月 25日
加藤 裕司 会員	昭和 42年 12月 25日

おめでとうございませう



委員会報告

「友」12月号のご紹介 五阿弥宏安 委員

■横書きのページ

●12月3日は国際障害者デーだが、知られていない記念日として「妻の日」でもある。1年間の妻の労をねぎらう日で、1年の最後の月である12月と、感謝を表す「サン(3)クス(Thanks)」の語呂合わせに由来する。1995年に凸版印刷が制定した。みなさん、今日は伴侶を大事にしてねぎらいの言葉の一つでもかけましょう。できれば贈り物などいいかもしれません。横書きのめくって最初のページには国際ロータリー会長のメッセージが紹介されています。「贈り物を分かち合う」というタイトルです。「人々に喜びをもたらすことによって自らが犠牲になることはありません。それどころか喜びは増していくのです。贈り物を贈り合うシーズン、私たちはほかの人々と分かち合うことで与えられた贈り物を増やそうではありませんか」と述べています。ロータリーの精神そのものでもあります。

●12ページ…特集として「自然災害に備えて」—災害の発生時にロータリークラブ同士で災害時相互支援協定を結んでいるケースを紹介して参考になる。今年6月、宮城県の岩沼ロータリークラブと横浜の旭ロータリークラブが協定を結んだ。「防災」を2014-15年度の目標に掲げた旭RCの提案だった。クラブ内にワーキンググループをつくり、会員間の緊急連絡網を作った。とはいえ被災した場合、支援を受け入れる体制はすぐにはできない。このため被災していない他のクラブが情報収集や救援物資の支援などを一時的に代行できないか検討した。そこで東日本大震災の復興支援で関係ができた友好クラブとなった宮城の岩沼RCと協議し、今回の協定となった。今後の参考になる。

■縦書きのページ

●最初のスピーチのページでは「いじめ予防を考える」と

題して、子供の発達科学研究所の主席研究員の方の講演要旨が紹介されています。いじめの経験者は加害者、被害者、傍観者を含めると100%となる。いじめの定義として4つのキーワードを示している。①力の不均衡(大人のパワーハラと似ている)②繰り返される行動(1度だけでなく何度も)③意図的なネガティブな行動(わざとやっているということ)④不公平な影響(やられている側はとてつもない辛いのが加害者はあまり思っていない。やって当然、遊びだ等と軽く考えている)

力の乱用がいけないことを教える。不公平な影響が起きることを教える。強い立場の人はいつもそのことを考えればいじめはなくなる。被害者になりそうになったら、助けを求める信号を出す。

大人は子供のいじめに関して傍観することが多い。教師の4%がいじめに向き合い、あとの94%は見ても見ぬふりという調査結果もある。統計では欧米の場合、75%の子供が、日本では60%の子供がいじめに遭っても親に言わない。

ではどうするのか。被害者や加害者を見つけるのではなく、傍観者を見つけるのは簡単。いじめをやめさせたいと思っている子も多い。彼らにこそ、「そんなことではだめ」とか「他の大人に助けを一緒に求めに行こう」などと思わせるよう具体的な行動や言葉を教えることが大事。

「風土」が大切。あのクラスの雰囲気は良いとか、あの学校はいい、会社の雰囲気はいいなど、「風土」をつくっていくことが大事。良い環境にいればパフォーマンスは上がり、仕事や勉強が楽しくなり、業績もあがる。逆に悪い環境ではやる気もなくなり、成果も落ちる。行動と環境の相互作用。いじめをなくすにはまず大人が変わる、私たち自身が変わることが必要。傍観者から介入者にならなければならない。会社の経営などを考える視点にもなる。

「過去を変えることはできない。他人は変えることもできない。しかし、自分が変わることはできる。そして未来を変えることはできる」

ニコニコBOX報告 (報告)佐藤 武彦 委員長

本日のニコニコBOX投入額 34件 ¥67,000 累計 ¥1,168,000

丹治 正博 会員

私事ですが、先日、長女に初孫女の子が誕生し、私も晴れておじいちゃんとなりました。とりあげて頂きました幡先生に、心から感謝を申し上げます。

茂田 士郎 会員

福島ロータリークラブの皆様にはいつも「福島いのちの電話」にご支援を頂いてありがとうございます。この度のチャリティコンサートはいつも暗い相談話をしている相談者と電話相談員が市民の皆さんを支え少しでも明るい年末にしようと企画したもので、もし時間があれば皆様もどうぞお出かけ下さい。

幡 研一 会長

本日の年次総会宜しくお申し込み申し上げます。本保 晃会員のスピーチを楽しみにしております。

森川 英治 会員

今年も12月11日～13日の3日間、福島銀行の地下大ホールで障がい者施設製品の大展示即売会を開催します。良い物が一杯ありますので、皆さん是非お越し下さい。

白岩 康夫 会員

この度の歯科医師会から歯びいライフ8020運動にあたり80歳で20本以上の歯を保持していることを認定するという証状を受け取りました。推薦していただいた勢島会員に感謝します。

小原 敏 会員

来たる12月6日に開催されます福島RC青少年国際理解フォーラムでは本校の多くの生徒、留学生に素晴らしい機会を与えていただきありがとうございます。

浦部 博 会員

信夫山中腹のしのぶ荘がいよいよ来年4月から「展望喫茶と信夫山ガイドセンター」としてOPENすることになりました。総合的な信夫山プロジェクトのはじまりです。

渡辺 健寿 会員

次年度役員・理事選任の総会開催おめでとうございます。本保会員のスピーチを楽しみに。

他に／相良元章会員／五阿弥宏安会員／清水義之会員／加藤義朋会員／箱岩 偉幹事／田沼紀美子会員／三木エリカ会員／信国一朗会員／靄丸直久会員／門脇 涉会員／氏川守義会員／佐藤康太郎会員／後藤洋伸会員／児玉健夫会員／森岡幸江会員／牧野吉晃会員／佐藤英典会員／古保 猛会員／藤井高志会員／今井 康会員／坪井大雄会員／金子與志人会員／菅野裕一会員／中尾根康宏会員／増子 勉会員／佐藤武彦会員